

平成28年度 社会福祉法人百八会 事業報告

1 はじめに

平成28年4月の熊本地震により、社会福祉法人百八会は施設・設備等に被害を受けましたが、入居者や勤務中の職員に大きな怪我等なかったことが救いでした。被災した職員も大勢いる中で、職員一丸となって社会福祉法人としての責務を果たすべく、法人が持つ人材や施設・設備などの資源を活用し、発災直後は一時避難のため近隣住民を受け入れ、また7月半ばまでは福祉避難所(熊本市・益城町と協定締結)の運営をし、さらには地域住民(高齢者や障がい者)を対象にした入浴支援などに取り組み、地域貢献活動に努めることができました。この活動に取り組むことが出来たのも全国の社会福祉協議会や、老施協、NPO 団体、一般個人の皆さま方の多大なご支援やご協力があったることと、改めて深謝いたします。

各事業所は、安定した事業所運営経営基盤の強化として、平成28年度から人事考課制度を導入し、専門人材の確保と職員の職務に対する意識向上を目指してまいりましたが、この取組みは未だ道半ばの状況です。

今後も利用者サービスの質の向上や地域福祉の中心的な役割を果たすことを目的とし、皆さまのご期待に添うべく、法人の発展並びに社会福祉事業の推進に一層努力を重ねてまいります。

2 概要

(1) 組織

①理事会・評議員会

理事：7名 評議員：15名 監事：2名

②理事会・評議員会開催状況

第1回 理事会・評議員会（平成28年7月26日）

議案 平成27年度事業報告について
平成27年度決算報告について
平成28年熊本地震に伴う借入金について
百八会職員見舞金規程について

第2回 理事会・評議員会（平成28年12月20日）

議案 社会福祉法人制度改革に伴う定款の変更（案）について
評議員選任解任委員会運営細則（案）について
評議員選任解任委員会の委員選考（案）について
次期評議員選任候補の推薦（案）について

第3回 理事会・評議員会（平成29年3月29日）

- 議案 平成28年度補正予算（案）について
平成29年度事業計画（案）について
平成29年度予算（案）について
経理規程の一部改正について
育児・介護休業規定の一部改正について
社会福祉法人制度改革関連諸規程の整備について
河内施設長の再雇用について

③事業所

- ・特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹
- ・シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 通所介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所
- ・シルバーピアさくら樹 居宅介護支援事業所

3 施設設備管理

熊本地震によって被害を受けた施設設備の復旧工事のため、国庫補助等の助成金申請をし、早急な復旧を目指しました。本年5月より工事を開始します。

4 地域福祉の推進

- ・地域のサロン、健康教室、老人会の集会へ職員が出向き、健康チェックやレクリエーション、講話等で協力しました。



- ・桜木東校区の夏祭りには司会者などで職員を派遣。餅つき大会にも参加し、地域の皆さんと交流を図りました。



- ・各種ボランティアの受入れ（登録者数 51 名）
登録ボランティア以外に、28 年度は熊本地震のため福祉避難所の運営にかかわる介護ボランティア等を県内外から多く受け入れました。



- ・エコキャップ収集活動
2008 年からイオン九州株式会社の「ペットボトルで世界の子どもワクチンを届けようキャンペーン」に協力しています。
28 年度は合計 159.45kg（ポリオワクチン約 40.2 人分）のキャップを収集し、イオンに届けることができました。



- ・地域交流スペースを地域住民に無料開放
民生児童委員さん等の会議や各種勉強会などにご利用いただきました。



- ・実習(研修)生の受入れ

受入先	実習期間	学校 / 所属	人数
特養	H28/8/22～H28/9/23	熊本学園大学 社会福祉学部	1
	H28/5/23～6/16	菊池女子高等学校 社会福祉科	2
	H28/5/16～7/14	熊本看護専門学校 看護学科	10
通所	H28/9/5～9/9	熊本大学理学部	1
	H28/6/29～7/12	熊本県立熊本支援学校 高等部 東町分教室	1
	H28/10/25～10/27	熊本市立桜木中学校	4
	H28/8/9～9/14	熊本学園大学 社会福祉学部	2
居宅	H29/3/7～4/3	熊本県介護支援専門員実務研修	2

5 広報

- (1) リーフレット(リニューアル)、5月に完成しました。
- (2) 地域交流紙「さくら樹」年5回発行しました。
春号(4月発行)、夏号(7月発行)、秋号(10月発行)、新春号(1月発行)
※6月に熊本地震関連の支援者の皆さんへの感謝をこめて、インターネット限定で号外を発行しました。
- (3) 法人運営の透明性確保のため、法人の現況報告開示等の発信媒体として、インターネット(ホームページ)を活用しました。

6 施設内研修実績

実施月	研修内容(担当部署・委員会)
平成28年 4月および5月	熊本地震により中止
6月	危機管理、非常用機器について(事務部)
7月	食中毒について(栄養部)
8月	排泄・褥瘡予防について(入居部)
9月	高齢者虐待について(身体拘束・安全対策委員会)
10月	嘔吐処理について(感染対策委員会)
11月	ストレスマネジメント(労働安全衛生委員会)
平成29年 1月	失禁におけるスキンケア講座(入居部)
2月	救急救命方法について(入居部)
3月	各委員会からの報告 ※書面にて

7 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
運営委員会	理事長、本部長、施設長、幹部職員	毎月第1火曜日	各事業所の現状・問題点など
安全対策・身体拘束廃止委員会	本部長、施設長、各部署代表	毎月第2木曜日	ヒヤリハットの検証・身体拘束廃止などについて
福利厚生委員会	各部署代表	毎月第4火曜日	職員の福利厚生について

地域浸透・広報・展示物企画部会	各部署代表	毎月第4火曜日	行事・広報誌・ホームページ・展示・掲示物について
苦情・接遇・ご意見収集・改善部会	各部署代表	毎月第3火曜日	施設、職員への苦情・接遇・ご意見について
ボランティア部会	各部署代表	随時	ボランティアについて
CS委員会	各部署代表	毎月第1火曜日	サービス向上のための諸問題検討、解決各部会の伝達事項
労働安全衛生委員会	施設長、各部署代表	毎月第3火曜日	職員の労働・安全・健康に関する事項

平成 28 年度 特別養護老人ホーム シルバーピアさくら樹 事業報告

1 基本方針

社会福祉法人百八会の基本理念に基づいた個人の尊重を基盤とし、入居者様の尊厳のある生活を護り、日々安全で健康な生活が送れるよう生活支援や健康管理に努めました。

- ① 個別ニーズに適応するサービス提供が行なえるように、入居者・ご家族の想いを取得し、多職種との連携を密にしたサービス提供が行なえる体制作り
に努めました。
- ② ケアの統一を図る為 記録用紙の変更や記入内容の変更など皆で議論し、
各ユニットに完備して統一した情報をスタッフが理解をして、誰もが入居
者に対して同じケアが提供できる体制作り
に努めました。プラン変更時に
適切に記入がなされてなく、変更されて無いこともありましたが、その都
度話し合いを行い記録用紙や記入方法の改善をしました。ケアプラン作成、
担当者会議はスムーズに行うことが出来ました。
- ③ レクリエーションは、日々のレクリエーションのほかに2か月に1回全
部の入居者対象に多彩な催しものを行いました。

8月	夜市
10月	バーベキュー大会
12月	ケーキバイキング
2月	豆まきとユニット対抗ゲーム

2 看取りへの取り組み

平成28年度は、看取りケアへの更なる本格的取り組みとして、看取り後
に多職種とのカンファレンスとに努めました。

指針・マニュアルの活用、職員研修の実施に努め、スタッフ一人ひとりが、
入居者の尊厳を守り看取り介護が実施できるよう努め、グループ内の研究
発表や健康フェスタ、老施協で「施設内の看取りへの取り組み」の発表を
しました。

平成28年度、施設内で看取りを行った方は9名でした。

3 入居者状況（平成29年3月31日現在）

平成28年度は、退居者17名（うち、死亡14名、医療機関2名、有
料老人ホーム1名）。新入居者は18名（うち、老健より10名、医療機関
より5名、有料老人ホームより1名、在宅より2名）であった。

※H28年3月31日時点で入居49名だったため、28年度の受け入れが

退居者より1名多い数となっている。

(1) 男性…8名 女性…43名

※うち女性1名は、平成28年5月15日より震災にて特別枠にて受け入れ。居室はショートステイの1室利用。平成29年5月まで利用予定。

(2) 平均介護度…4.33 (男性：4.75 女性：4.26)

(3) 平均年齢…88.7歳 (男性：86.6 女性：89.0)

受診延べ人数 202人

入院延べ人数 25人

4 委員会の実施状況

会議などの名称	参加職員	実施状況	会議の内容
ユニット会議	ユニット職員	ユニット毎、月1回 (不定期)	ユニットでの問題について
医療的ケア安全対策委員会	施設長、ユニット職員、関係部署代表	毎月第3木曜日	入居者への吸引、胃ろうについて
排泄・褥瘡委員会	各部署代表	毎月第4火曜日	排泄・褥瘡予防について
感染・口腔・食事委員会	各部署代表	毎月第4火曜日	感染・口腔ケア・利用者の食事について
ケアプラン・記録・教育委員会	各部署代表	毎月第3水曜日	ケアプラン・記録・職員教育について
リーダー会議	入居部長、相談員、ユニットリーダー	毎月第2木曜日	各ユニットの諸問題、業務の検討事項
多職種連携会議	入居部長 ユニットリーダー 機能訓練指導員 相談員	毎月第2木曜日	各職種における情報共有

5 施設内研修実績

① 入居部施設内研修

今年度より入居部に関する身近なテーマで、介護士・歯科衛生士・相談員・セラピスト・看護師・研修報告を月に2回行いました。

月/日	テーマ	担当
4月	褥瘡予防	看護師
5月	認知症について	すずらんユニット
6月	PTの役割	理学療法士
7月	2件の看取りの感想	なでしこユニット
8月	補助道具の使い方	ゆりユニット

9月	介護保険とは	社会福祉士
10月	研修報告	8名の介護士・看護師
12月	口腔ケアの目的	歯科衛生士
1月	SSの仕事内容	ひまわりユニット
2月	パワハラについて	すみれユニット
3月	ユニット型特養と 介護福祉の役割	りんどうユニット

② 施設外研修

・ 熊本実践フットケアセミナー	2人
・ 実習指導者養成研修会	1人
・ 医療的ケア研修員講習会	1人
・ 施設における介護事故防止と 感染対策の実際	3人
・ 看取りに望まれる実際のケア	3人
・ 熊本県看護学生実習指導者講習会	1人
・ 喀痰吸引等研修会	4人
・ 拘縮予防と有効なホジションが	3人
・ 感染症対策セミナー	2人
・ 拘縮予防・改善の取り組み	1人
・ 看護師権利擁護推進研修	2人
・ 腰痛予防対策講習会	2人
・ 笑って脳トレ	3人

6. 一年間を通して

4月の大地震で建物の被害は有りましたが、入居者・職員に負傷者が一人もいなかったことは幸いな事でした。自宅が倒壊したにも関わらずまず施設に駆けつけてくれた職員、自宅の食品を提供した職員等、火事や台風などの災害対策は常に講習が有ったりしていましたが、地震は考えたことが無かったので想定外の事ばかりでした。このことは非常時の課題として今後対策を考えるのに教科書にしたいと思います。

それから、研修参加が少なく職員の質をさらに上げる努力が不足していたと思われ、委員会の活動については積極的な活動が見られませんでした。

今後は組織の一員として積極的な委員会活動を行えるよう委員会の目的・方針を明確にしたいと思います。リーダー会議では多くの入居部内の問題を話し合いましたが今後は 職場風土や質の向上に向けて努力したいと思います。

平成 28 年度 シルバーピアさくら樹 短期入所生活介護事業所

事業報告

1 基本方針

特養基本方針に準ずる

2 対象者

介護保険で「要支援・要介護」と認定された方

3 サービスの概要

- (1) 入浴 利用者の状況に合わせた入浴
- (2) 食事 時間、食形態を利用者に合わせ提供
- (3) 排泄 個別ニーズに応じた支援
- (4) その他、自立に向けた日常生活援助、生きがいのためのレクリエーション、作業療法士（OT）によるリハビリ

4 利用料金

利用者の要介護度に応じた自己負担額。介護保険による料金の改定なし。

5 配置職員

介護保険法に規定する職員配置（介護福祉士 2 名、介護士 1 名）

6 短期入所生活介護年間利用実績

月	利用実数（延べ）	稼働率（％）
4	140	78
5	122	79
6	123	82
7	126	81
8	108	70
9	115	77
10	103	66
11	94	63
12	112	72

1	104	67
2	100	71
3	105	68
年間	1,352	73

※ショートステイの利用状況は、結果として今年度も前年度と同様に7割程度であった。ショートステイを中心に利用される方も含め利用予約時は、9割以上の予約があるときもあったが、月の半数近く利用される方の突発的入院や、他施設への入居等によりキャンセルとなることが多々あり、ショートステイの利用数減少の理由の一つとして考えられる。対策として、前年度と同様に継続して、空床発生時は速やかに居宅介護支援事業所へ連絡し、空床を埋める努力を行うも、在宅サービスは1ヶ月単位で予定を組むため、なかなか利用に至らなかった。

また、新規の利用者も着実に増加してきてはいるが、月1程度（1泊2日など）の利用のため、今後ますますの新規利用者の確保が必要である。

平成 28 年度 シルバーピアさくら樹 通所介護事業所 事業報告

1 事業報告

介護保険法に基づき、通所介護の事業の適正な運営を確保するために人員及び管理運営に関する事項を定め、事業所の相談員、介護職員及び看護職員等の従業員が利用者の社会的孤立感の解消及び心身機能の維持並びに利用者の家族の身体的・精神的負担の軽減を図る為、要介護状態または、要支援状態にある高齢者に対し、適正なサービスを提供した。

(営業日及び営業時間)

営業時間	月曜日～土曜日（但し 12 月 31 日～1 月 3 日を除く）
サービス提供時間	午前 9 時 15 分 ～ 午後 4 時 30 分
利用定員	50 名

2 事業内容

(1) 生活支援

利用者の生活状況を把握し、指導・援助を実施。(家族や利用者間の調整、自立支援のための個別プログラム、利用日の調整など)

(2) 機能訓練

利用者の A D L の評価を行い、個々の身体状況に応じてプログラム内容を策定実施した。またグループ活動におけるゲームや行事参加などに加えて運動療法、音楽療法も実施し職員と利用者との良好な人間関係を築けるような雰囲気づくりにも心がけた。

(3) 養護

1 日の利用を通じ、利用者が安全かつ快適に過ごせるよう配慮し、食事・歩行・排泄の介助、利用者の自主性や積極性を自然に引き出せるような人間関係づくりを心がけた。

(4) 健康チェック

毎日の健康チェックは、血圧測定、体温測定、SP02 測定や定期的な体重測定など、全身状態の把握を行い、利用者に異常があった場合は看護師による処置・適切な対応を行った。

(5) 送迎

利用者宅の玄関からデイサービスの玄関まで(door to door)の送迎を安全に行った。

(6) 入浴

利用者の身体状況と希望に応じて一般浴、個人浴、機械浴、清拭、足浴の対応を行い保清に努めた。また、皮膚状態の観察を行い異常の早期発見と対応に努めた。

(7) 食事

個々の嗜好や健康状態に応じ、栄養の必要量をバランスよく盛り込み季節感あふれる献立（管理栄養士が作成）で個人の咀嚼能力（刻み食、トロミ食、ソフト食など）に応じた対応ができた。また食事前の嚥下体操、食事後の口腔ケアも実施できた。更に日本訪問歯科協会と連携して無料検診も実施できた。

3 その他の活動や行事

(1) 機能回復訓練を目的としたレクリエーション活動の企画と実施

レクリエーションは、「利用者全体で行うもの」と「個別に行うもの」「グループで行うもの」3通りに分けて、利用者の希望によりレクリエーション活動に参加していただき、良い人間関係をつくりつつ利用者の自主性・積極性を引き出す活動を行った。毎月のデイ会議で企画や実施後の反省点などについての意見交換を行い、次のレクリエーション活動に繋いでいった。

(2) カルチャー

利用者全体で行うものと個別に行うものと2通りに分けて、利用者の希望によりカルチャー活動に参加して頂いた。

(3) ボランティアの受け入れ

地域の方の協力により、週に数回定期的に来ていただき、話し相手や外出の付き添い、日舞・民謡・唱歌・琵琶や三味線・大正琴演奏・尺八やオカリナ演奏・ギター演奏・フラダンス・囲碁・手話ダンス・保育園の慰問、書道、絵手紙・折り紙・ちぎり絵の作品指導に来ていただくほか、毎週月、木曜日には、地域交流スペースにて喫茶さくらをオープンできた。

(4) 地域支援

近隣の地域で行われている高齢者のサロンや老人会へ参加し、血圧測定や健康相談、ゲームやレクリエーション、健康体操等を提供し地域との交流に努めた。

4 利用者の動向

1) 登録者内訳（平成 29 年 3 月 31 日現在）

①登録者数(名)

	予防	介護	計
男性	5	25	30
女性	18	61	79
合計	23	86	109

休み

入院/入所	10
自宅療養	3
計(名)	13

※3月利用者数 96 名

***平成 29 年 3 月 31 日の登録者数 109 名。そのうち 10 名が入院や老健の施設を利用、3 名が自宅療養されており、実績は 96 名であった。**

②年齢

年齢(歳)	60～64	65～69	70～74	75～79	80～84	85～89	90～	合計
人数(名)	1	3	5	9	25	31	22	96

最年少：64 歳（第 2 号被保険者）

最高齢：97 歳

平均年齢：84.5 歳

男性：82.1 歳 女性：85.5 歳

③世帯構成

計 109 名

※同居	夫婦のみ	独居	有料老人ホーム
55	23	20	11

※子供世帯や兄弟と同居

④介護度

介護度	人数	
要支援 1	8	要支援 計 24
要支援 2	16	
要介護 1	41	要介護 計 85
要介護 2	24	
要介護 3	9	
要介護 4	7	
要介護 5	4	

平均介護度：1.60 男性：1.74 女性 1.54

⑤関連事業所 30事業所

赤とんぼ	シルバーライフ熊本	ふれあいの里
あきつ	せせらぎ	益城病院居宅
おびやま居宅	早プランニング	ミュージズ
九州記念病院	はあとふる	御船清流園
グリーンコープ	ハーモニー	モンクールの杜
コスモピア熊本	はなもも	ライフケアわかば
在宅 ST 水前寺	八王子の杜	ささえりあ桜木・秋津
サンライズヒル	パンプキンハウス	ささえりあ尾ノ上
サンライフ長嶺	ふくし大夢	シルバーピアさくら樹
栞	福田はり灸ケアセンター	ささえりあ江津湖

2) 年間利用者 H28年4月～H29年3月

①月別利用者(件)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	18	76	192	172	82	23	18	581
5月	22	79	309	258	137	45	1	851
6月	29	90	337	271	112	68	4	911
7月	28	98	339	267	117	71	5	925
8月	30	97	350	266	109	58	4	914
9月	33	107	348	259	105	83	4	939
10月	30	104	355	277	90	69	13	938
11月	22	93	344	283	90	71	20	923

12月	22	120	367	291	84	41	34	959
1月	23	89	350	270	75	37	40	884
2月	23	83	356	227	71	42	39	841
3月	22	104	411	256	73	46	41	953
合計	285	1140	4058	3097	1145	654	203	10582
平均	23.8	95	338.2	258.2	95.4	54.5	16.9	881.9

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
28年度	581	851	911	925	914	939	938	923	959	884	841	953
27年度	906	934	928	961	848	819	911	898	952	869	918	926
26年度	806	885	838	902	877	896	913	871	926	768	776	864

* 月目標 900 件としていたが、4 月は地震の影響（4/15～23 営業停止）により利用者数の減少も考えられたが、益城町や御船町より新規利用者もあり大きな減少とはならなかった。

1～2 月は、入院や入所などもあり目標に達することができなかった。3 月は新規や退院などもあり目標を達成できた。

②月別利用者(数)

介護度	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	計
4月	8	17	29	23	12	5	18	97
5月	6	12	33	22	14	4	1	92
6月	7	12	33	22	12	7	1	94
7月	7	13	33	20	14	7	1	95
8月	8	11	32	21	12	5	1	90
9月	8	14	34	21	11	8	1	97
10月	8	14	33	22	10	8	2	97
11月	6	13	37	23	9	7	2	97
12月	5	15	34	23	9	6	4	96
1月	7	12	34	23	10	5	4	95
2月	7	12	37	21	8	5	4	94
3月	8	17	29	23	12	5	3	97
合計	77	162	398	264	122	72	26	1120
平均	6.4	13.5	33.2	22	10.2	6	2.2	93.3

28年度	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
新規	4	9	5	5	5	4	3	5	7	3	3	4	57
終了	1	10	4	2	5	2	3	4	4	4	1	1	41

* 平均が新規 4.75 人、終了・中止 3.4 人と新規が上回った。
 今後も新規利用者の定着を目指していく。

4 平成 28 年度年間行事

※ 随時 毎月誕生会

	行 事	行事食及び特別献立
4月	・お花見 3/28~4/6	・お花見弁当 4/2、4/4~7
5月	・母の日 5/9~14 ・つつじ見学 中止 ・菖蒲湯 5/5	・セレクトメニュー 5/25 (水) (おやつ5種類) ・おやつ作り (お好み焼き) 5/26 (木)
6月	・父の日 6/13~18 ・料理会 なし ・屋外活動 なし	・バイキング 6/18 (土) ・セレクトメニュー6/2 (木) (親子丼 or 牛丼)
7月	・七夕祭り 7/7 ・屋外活動 なし	・セレクトメニュー 7/4~6 (研究発表メニュー)
8月	・夏祭り 8/23~25 ・屋外活動 なし	・模擬店 だら焼き ・セレクトメニュー8/8 (月) (研究発表メニュー)
9月	・敬老会 9/11 (日) ・コスモス見学 なし ・屋外活動 なし	・敬老会弁当
10月	・運動会⇒ゲーム大会 ・コスモス見学 なし ・屋外活動 買い物ツアー 10/17~22	・バイキング 10/18 (火) ・セレクトメニュー10/26 (水) (肉うどん or そば)
11月	・文化祭 11/1~30 ・银杏見学 なし	・寿司バイキング 11/1 ・セレクトメニュー11/10 (木) (ぶっかけうどん or そば)
12月	・クリスマス会 12/24 ・ゆず湯 12/21	・クリスマスオードブル ・おやつ作り 12/2 (金) 芋のみたらし団子

平成 29年 1月	<ul style="list-style-type: none"> ・初詣 1/16～21 ・新年会 1/12～13 	<ul style="list-style-type: none"> ・新年会鍋パーティー ・セレクトメニュー1/21（土） （ちゃんぽん or パリパリそば）
2月	<ul style="list-style-type: none"> ・植木市 中止 ・節分 2/3（金） ・屋外活動 なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・恵方巻き
3月	<ul style="list-style-type: none"> ・植木市 中止 ・おひな祭り 3/3（金） ・屋外活動 なし 	<ul style="list-style-type: none"> ・ちらし寿司

***地震の影響により屋外活動など実施出来ないことがあった。**

5 職員（新人）内部研修計（第1・3木曜日）

4月	<ul style="list-style-type: none"> ・理念、法令遵守について（組織体制と法令遵守について） ・通所介護事業所の関連法規について ・介護ソフト「寿」について
5月	<ul style="list-style-type: none"> ・接遇について（利用者、家族、来客者、電話での対応） ・認知症について ・頭をぶつけたら
6月	<ul style="list-style-type: none"> ・食中毒について ・糖尿病について
7月	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者のプライバシー、相談・苦情について ・ボランティア受け入れ時の心構えについて ・集団指導による遵守事項⇒未実施
8月	<ul style="list-style-type: none"> ・通所介護契約書と重要事項説明書、運営規定について⇒未実施 ・利用者と職員の健康管理について（脱水）⇒未実施 ・お薬について
9月	<ul style="list-style-type: none"> ・救急法について ・非常災害時の対応について⇒未実施
10月	<ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護制度の理解について⇒未実施 ・脳卒中について
11月	<ul style="list-style-type: none"> ・感染対策について ・緊急時の対応について
12月	<ul style="list-style-type: none"> ・消防訓練 ・高齢者のリハビリと効果について⇒3月に延期
平成	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者介護従業者のストレスマネジメントについて

29年 1月	(メンタルヘルスケア、リスクマネジメント) ⇒未実施 ・腰痛について
2月	・新年度事業計画について⇒未実施 ・介護現場における医療行為とは⇒未実施
3月	・一年を振り返って。

* 専門職としての資質向上と、より良いサービスの提供を目指しの職員の連携を大切にした研修会議を行った。他、施設内研修にも参加した。

～まとめ・統括（次年度に向けて）～

平成29年度の目標は、①目標平均日 40 件、月 1040 件とした。②整理・整頓
③報・連・相の徹底④地域行事への参加・交流（スタッフ全員1回以上）とした。目標を達成出来るよう事業所一丸となって取り組んでいく。

平成 28 年度 シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所 事業報告

1 事業報告

社会福祉法人百八会の訪問介護事業所は、基本方針を基に事業運営に努めました。利用者が安心してすこやかに生活していただける環境の提供を目指し、事業所と在宅・地域との連携を取りながら事業推進を図りました。

また、地域に根ざした幅広いサービスの提供と、法人施設全体のスケールメリットを生かした事業展開を行ないました。

- (1) 利用者本位で、尊厳のある生活を守り、自立を目指した生活支援に努めました。(ADLの維持・向上と高いQOLの実現)
- (2) 利用者が、日々健康な生活を維持できるよう健康管理に努めました。
- (3) 保健・福祉・医療の各関係機関との連携を密にし、サービス提供責任者と訪問介護員のサービスの質の向上を図りました。
- (4) 専門職を高めるため各自自覚をもち、自己研鑽に励み、理論的な裏付けに基づいたサービスの方法・技術の向上に努め、質の高いサービスが提供できる人材の育成を目指しました。
- (5) 利用者一人ひとりの嗜好に応えられるよう勉強し、支援しました。
- (6) 掃除等、家事については、利用者の出来ないところの支援を行い、保有能力を活かせるように支援しました。

2 研修会報告

- ・ 平成 28 年 10 月 8 日 (土) 認知症介護実践者フォローアップ研修県庁
「平成 28 年度熊本地震により被害を受けた施設・事業者からの報告」
シルバーピアさくら樹 訪問介護事業所 報告者 大内麻由美
「事業所が災害や非常事態に備えるために」 パネラー 大内麻由美
- ・ 平成 28 年 10 月 27 日 (木) シルバーピア さくら樹
熊本市東 5 地域包括支援センター平成 28 年度第 2 回地域運営協議会
「第 2 回あさひば校区地域支え合い活動推進協議会」
多職種連携協議会 訪問介護事業所 オブザーバー 大内麻由美
- ・ 平成 28 年 11 月 4 日 (金) シルバーピア さくら樹
「元気な明日のためのストレスマネジメント研修会」
長崎純心大学心理学教授・地域連携センター職員

- ・平成28年11月 13日(日) ケアセンター赤とんぼ
「第3回 熊本地区サービス提供責任者研修会 総合事業について
地域包括支援センター入新井 センター長 澤登久雄先生
(参加者86名)
- ・平成28年12月3日(土) KKRホテル熊本
「平成28年度熊本県ホームヘルパー協議会セミナー
認知症になっても在宅で暮らし続けるために 本人と家族を支える
ホームヘルパーとしての支援のあり方を考える。
- ・平成29年2月18日(土) リビング・ウイル・サポート 平成教室
「介護技術演習～心身に負担を欠けない為に～」
介護者・利用者双方の身体を守る介助のあり方

3 その他の活動

- ・登録ヘルパー募集と新規利用者獲得のため、ポスターを作成。近隣のコンビニエンスストアなどに掲示を依頼した。また、益城町の仮設住宅や地域包括、熊本市の地域サロンに配布していただき、益城町仮設住宅にお住まいの方がサービス利用につながった。
- ・平成29年4月より始まる熊本市の総合事業に向け、書類等の整備をし、人員配置を検討した。ヘルパーの人員不足という課題が残るものの、熊本市の事業者指定を受ける事ができた。

4 訪問介護員(登録ヘルパー)勉強会報告(登録ヘルパー21名)

- 4月 介護従事者としての倫理、一年間の目標
- 5月 コミュニケーションの方法
- 6月 リスクマネジメントについて
- 7月 事例検討会
- 8月 緊急時の対応マニュアル
- 9月 地域福祉権利擁護事業について
- 10月 ヒヤリハット、アクシデント報告
- 11月 メンタルヘルスについて
- 12月 総合事業について

- 1月 認知症になっても在宅で暮らし続けるために
- 2月 介護技術演習(心身に負担を掛けない為に)
- 3月 情報交換(一年のまとめ)

6 研修会等参加のまとめ

様々な研修会等に参加することにより、サービス提供責任者自らが介護の専門職として自己研鑽に励み、困難事例や身体介護を重点とする利用者にも誰でも対応できるように訪問介護職員一人ひとりの知識や技術向上に努めました。今後も地域に根ざした在宅サービスのあり方を学び、総合事業にむけ、多職種や地域に皆様と連携を図ってまいります。

7 一年間を通して

平成28年度は熊本地震による影響もあり、28年4月の利用者が98名から5月は61名に減り、その後も60名から70名の伸び率で、ようやく12月に入り83名、29年3月は88名にて本年度の事業が終了。

平成 28 年度 シルバーピアさくら樹居宅介護支援事業所 事業報告書

1 事業報告

- (1) 平成 29 年 4 月より熊本市が行う「介護予防・日常生活支援総合事業」開始に伴い利用者や家族の不安や不満の声に対して、理解し納得するように説明が行えるよう、事業所でも研修会等に参加し、情報収集を行った。
- (2) 高齢者が要介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい生活を最期まで送れるように地域がサポートし合う地域包括ケアシステムや地域ケア会議が果たす役割を理解できるように研修会や会議に参加した。
- (2) 地域の自治会や老人会などを通して、地域の方々の介護予防・健康増進に務め、同時に要介護認定を受けられた利用者及び家族の生活を支援し、在宅介護をはじめとした総合相談に応じるよう努めた。また福祉サービスの提供及び社会資源を有効活用出来るよう、市町村保険者、地域包括支援センター、保健・医療・福祉サービス提供機関との連絡調整を行った。

営業日及び営業時間

営業日	月曜日～土曜日（日曜日、祝祭日は除く） （年末年始（12/31～1/3 まで）
営業時間	午前 8 時 30 分～午後 5 時（月曜日～土曜日）

2 事業内容

- (1) 在宅介護に関する全般的な相談。
- (2) 居宅サービス計画、介護予防サービス計画の作成
 - ① 利用者へサービスの選択に必要な情報を提供
 - ② 利用者を支援する上での課題の把握と利用者及び家族への説明
 - ③ サービスの目標、達成時期を盛り込んだ居宅サービス計画の作成
 - ④ サービス担当者会議の定期的開催、担当者との連絡調整
 - ⑤ サービス計画書に対する利用者の同意
 - ⑥ サービスの実施状況の把握と評価
- (3) 行政・地域包括支援センターとの連携。
- (4) 医療・福祉との連携。
- (5) 新しいサービス、施設等の情報収集。
- (6) 医療・介護・福祉に関連した研修。
- (7) 地域活動の支援（サロンや老人会への参加、協力、支援）

3 研修報告

期 日	内 容
平成28年 5月24日(火)	・地域ケア会議 事例検討
6月19日(日)	・熊本市居宅介護支援事業所総会 「これまでの震災の振り返りとこれからの地域包括ケア」について
6月22日(水)	・あさひば校区多職種連携会
7月24日(日)	「熊本地震における事業所間の意見交換会」
8月11日(木)	・笑顔のコーチングファクシリテーター養成講座
8月23日(水)	・地域ケア会議 「在宅(高齢者住宅を含めて)事例を考える」
9月21日(水)	・東区地域連携ケア会議 心不全について
11月16日(水)	・あさひば校区多職種連携会 「おもしろいまちづくり、組織づくり、仲間づくり」
11月22日(火)	・熊本地震におけるケアマネ座談会研修
12月12日(月)	・平成28年度介護支援専門員実務研修に係る実習受入説明会
12月24日(水)	・東区地域連携ケア会議 「在宅看取りの事例検討」
平成29年 1月27日(金)	・熊本市東区福祉課 「成年後見制度について」
2月6日(月)	・熊本市介護予防、日常生活支援総合事業説明会について
2月17日(金)	・益城町介護予防、日常生活支援総合事業説明会について
11月3日(木) ~3月18日(土)	・主任介護支援専門員研修

4 28年度 居宅サービス計画・予防支援計画作成件数

	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	介護計	要支援	合計
平成28年4月	37	25	14	13	4	93	17	110
5月	43	22	18	15	4	102	13	115
6月	44	20	16	13	4	97	15	112
7月	42	26	18	14	4	104	14	118
8月	39	26	16	12	3	96	18	114
9月	41	26	15	15	5	102	16	118
10月	41	25	12	14	6	98	16	114
11月	39	26	12	14	6	97	14	111
12月	39	22	12	16	4	93	15	108
平成29年1月	40	22	15	14	5	96	15	111
2月	37	23	13	14	5	92	15	107
3月	37	22	11	16	4	90	16	106
合計	479	285	172	170	54	1160	184	1344

※震災の影響等もあり、入院や施設への入所で利用者の減少が目立った。

5 利用者紹介先

事業所名	件数
ささえりあ尾ノ上	5
ささえりあ桜木・秋津	7
ささえりあ江津湖	4
福祉避難所さくら樹	5
江南病院	2
西日本病院	2
平成とうや病院	2
問い合わせ（来所・電話）	6
利用者家族や職員・知人等	6
合計	39

「ささえりあ」や「病院」からの紹介が約70%を占めているが、新しいところは、担当利用者がある住宅型有料老人ホームや、家族の知人や電話での問い合わせ等があった。

（次年度に向けて）

登録利用者 150 人を目指して、グループ病院や包括支援センターにはもちろん、地域の病院や事業所、施設等へ営業を行い、地域サロンや老人会へも積極的に参加していきます。